

新たな森林環境管理制度を担う人材の養成について

【担当省庁】 林野庁

奈良県における取組

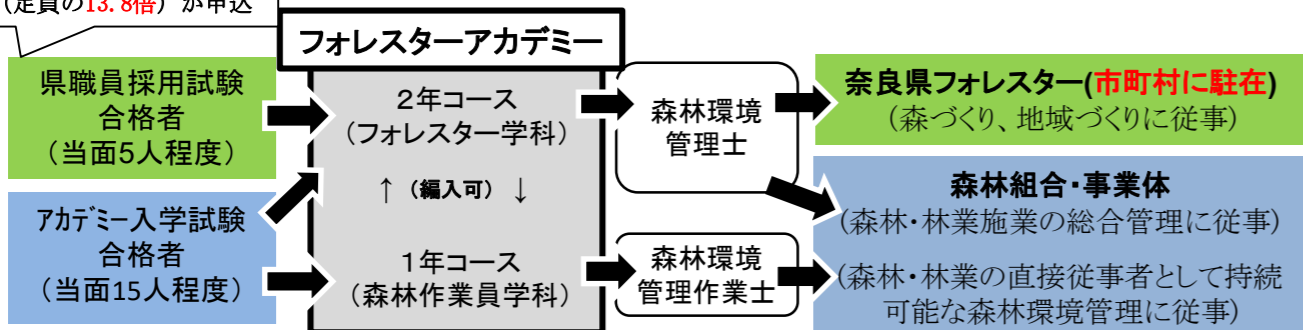
(背景) 新たな森林環境管理制度の運用開始 (R2~)

- 新たな森林環境管理制度の根幹となる「奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る**条例**」を令和2年4月に**施行**。

・**森林の4機能**(森林資源生産、防災、生物多様性保全、レクリエーション)を**一元管理**。

- 制度の推進役となる人材を養成するため、**令和3年4月に奈良県フォレスターアカデミーを開校**(令和3年入学者20名、令和4年度入学者19名、令和5年度入学者16名(4人辞退))。

R4の採用試験には**83人**(定員の**13.8倍**)が申込



- **県職員として採用する森林管理職員**をフォレスター学科で2年間教育
→卒業後には「**奈良県フォレスター**」の辞令交付を受けて**市町村に駐在**(R5は7名)。



奈良県フォレスター辞令交付の様子

- ・奈良県フォレスターは森林の伐採届の受理・審査等の市町村事務を受託し、森林環境管理を推進
- ・奈良県フォレスターの人件費(市町村負担)に**市町村配分の森林環境譲与税を充当**

奈良県フォレスターアカデミーでの人材養成 (R3~)



- 令和4年度奈良県フォレスターアカデミーの在校生28人
うち、**緑の青年就業準備給付金の希望者数: 14名**
令和4年度には**18名の学生**に対して年間約**114万円/名**の給付金をいただきました。
- フィールドワークを中心に**実践的な教育**を実施
- フォレスター学科2年生が10月にスイスでの現地実習を実施
- 奈良県フォレスターアカデミージャーナルを作成・配布し、生徒の就職先確保にも活用(↓第3号の抜粋)

The image shows the cover of the 'Nara Forester Academy JOURNAL' No. 3, featuring a student in a hard hat. Next to it is a page from the journal titled '一目で分かる! 就職実績' (Easy to understand! Career achievements). It includes a pie chart showing post-graduation career paths: 33% for 'Forestry Business' (林業事業体), 16% for 'Local Public Groups (Natural Land Management)' (地方公共団体(自然緑地管理)), 11% for 'Local Public Groups (Forest Management)' (地方公共団体(森林管理)), 11% for 'Forest Association' (森林組合), 9% for 'Local Cooperation Teams' (地域おこし協力隊), 6% for 'Self-employment' (自営), and 6% for 'Unemployment' (失業). Below the chart is a section for '奈良県フォレスターアカデミー無料職業紹介所' (Nara Forester Academy Free Career Introduction Office), which provides support for matching students with employers.

国にお願いすること

- 奈良県の新たな森林環境管理制度の人材養成に対して**特段の支援**をお願いしたい
- 国からアカデミー学生に給付される**緑の青年就業準備給付金の全額給付**(国の基準では年間最大140万円/名の事業となっているが、R5年度の内示は約78万円/名となっている)

【県担当部局】 水循環・森林・景観環境部 森と人の共生推進課